



8月号

平成2年8月1日

発行 / 編集
岡崎市教育委員会

夏の子どもたちよ
この光り輝く水のように
自らをきらめかせてゆけ
この紺碧の大空のように
すべてのものを抱きかかえよ
夏の子どもたちよ

<光る夏>

「先生、見て」
体で叫ぶ
バシャバシャバシャ
光の網の中をくぐっていく
子どもたちは光の魚となつて
限りなく輝きを増す
ブールサイドに立つた
私の心がうばわれる

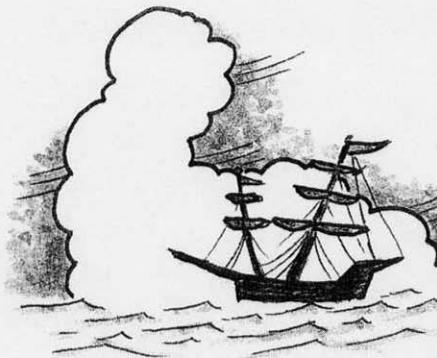


(しぶき - 三島小)

三十代から四十年代の初めにかけて、ルネサンス、バロック時代の西洋音楽に熱中した時期がある。

わが国でもちょうど同じような愛好者が増えつつある時だったが、ナマの演奏会で聴ける曲目は随分限られていた。指揮者、ハイブリッヂ演奏者として今も活躍中のイギリスのクリストファー・ホグウッドがたまたま少人数のグループで来日、モンテヴェルディやバーゼルの当

ういう機会はまず例外的である。



— 教育隨想 —

活字離れ

前田 弘司

セの歌劇「ディドーとエネアス」序曲とラモーのクラヴサン曲集から例のガヴオットでもちよつと聴くか」と思つても演奏会のプログラムにのることはまず絶望的。今はどうか知らないが、当時はちよつと気のきいた曲だとレコード(それ

も時には輸入盤)で聴くより方法はなかった。CDなどなかつたのはいうまでもない。

当方、ルネサンスやバロック時代の古楽器が演奏できるわけではないが、たまたま聴きたい曲の楽譜が手に入った場合は、レコードをかけて耳から音楽を聴きつづ講面を目で追う。多少は西洋音楽史の研究書にも目を通す。ブコフツァーの

「パロック時代の音楽」、ラングの「ジネサンス、バロック時代の西洋音楽に熱中した時期がある。

わが国でもちょうど同じような愛好者が増えつつある時だったが、ナマの演奏会で聴ける曲目は随分限られていた。指揮者、ハイブリッヂ演奏者として今も活躍中のイギリスのクリストファー・ホグウッドがたまたま少人数のグループで来日、モンテヴェルディやバーゼルの当

セの歌劇「ディドーとエネアス」序曲とラモーのクラヴサン曲集から例のガヴオットでもちよつと聴くか」と思つても演奏会のプログラムにのることはまず絶望的。今はどうか知らないが、当時はちよつと気のきいた曲だとレコード(それ

とすることはほとんどない。そのいきさつは次の通りである。

約一年半、単身赴任で自宅を留守にした。手持ちのオーディオ装置はかなり大規模、高価なもの(と自分で思つていた)で、運送中に故障が起きたのを心配して自宅に残し、高校進学前後の長女に「一週間に一度はレコードをかけよ」と命じておいた。ところが長女はそれを怠つたらしい。自宅へ戻ると、ターンテーブルの回転数は微妙に狂い、アンプの出力の左右バランスもおかしい。

これだけなら修理か改造すればよい。しかしもう一つ、実は音楽に熱中すればするほど本を読まなくなる、ということ以前から薄々気づいていたのである。

美しい旋律や和声が文字や書物を押し流してしまう。私の活字離れである。音楽にはそういう魔力もあるらしい。最近、学級は自閉児のアキコさんと精神薄弱児のフミオ君とユウジ君の三名である。

I 中学校では、担任自作の脚本による劇「水戸黄門」が練習されていた。学級は自閉児のアキコさんと精神薄弱児のフミオ君とユウジ君の三名である。役者が足りないので、サヨコ先生もかつらをつけて登場する。三人共、先生の若侍ぶりに大喜びだ。

自閉児のアキコさんは、常日頃から、この障害の特徴でもある対話の困難さを持つている。相手のせりふが終わったらタイミングをはずさず、自分のせりふを言わなくてはならない。今日の練習の中は、このアキコさんのせりふ回しにあ

全職員の温かい目で

特殊教育指導員

鈴木 忍



ふるさとシリーズ

この人に聞く



農業オペレーター

三井 敏幸 氏

渡橋の東と西では、町の様子に随分異なった趣がある。東側の賑やかな通りを抜け渡橋を渡ると、西には緑豊かな田園地帯が広がっている。その一郭に、農業オペレーターをしておられる三井氏のお宅があつた。

農業オペレーターというのは、あまり聞きなれない名前である。大型の機械を使って、いろいろな農作業を請け負うのがお仕事のこと。お話を伺った日の今日は前も、小牧まで田植えの応援に行ってこられたそうである。

「小牧とこちらでは田植えの時期が違うから。少しでも機械を長く利用した方

がいいもんですね。こちらが忙しい時は、また頼めるし。個人でやっている人と、グループを組んで農協の仕事を中心にやっている人があつて、個人の人は仕事があればどこへでも走って行きます。稻刈りの時期は、八月の終わり頃から田原へも行きますよ」

冬場の改良剤を入れる仕事に始まって、田起こし、苗作り、代かき、田植え、稻刈りと一年中仕事があるよう、機械も種類、数とも多くそろえてあり、設備投資がたいへんだと言われる。

「請け負いを始めたのは、十七、八年前から。その頃は、田打ちと稻刈りだけで、冬と夏は遊びでした。今ではサラリーマンになる人が増えてきて、頼む人が多くなってきました。この辺では一町歩（約一ヘクタール）というと大きい農家の方なんですが、それでも採算が合わないからと預けてしまう人がいるんです。」

現在は、矢作地区の農家三十軒分の田を預かっているとのこと。そのほかに、集団転作として麦を三十町歩作っているそうである。

「一反（約十アール）の田を田起こしするのに十分、田植えは二十分あればできてしまうから、一つの田んぼに一時間以上入っていることはありませんよ。」

と語る横顔からは、農業の最先端をいく自信の程を感じたが、農業の先行きはそれほど甘いものではないと言われる。

「高校を卒業して、初めは豚を二十頭ほど飼っていましたが、変動が激しくて損をしました。それで、ビニルハウスでナスを始めましたが、夫婦二人でやるには限界があり、この仕事をやることにしました。米作りを中心にするようになって六、七年ですが、米は安定していいです。しかし、米の単価が下がつたらやつはいけません。いつもやめようと思っています。一方三千万円もする土地で十二、三万円の米作りをしているんですから」

と、日本の農業の抱える問題や農業行政への苦言も。

戦後生まれの方らしい、思いきりのよさが言葉の端々からうかがわれた。

（生年月日 昭和二十三年三月十四日
住所 岡崎市東牧内町字向野十三）



ユウジ君とフミオ君が、自分たちの劇を見てもらいたくて、学校中のいろんな方に声を掛けていたようだが、それにこたえていただけたことが何よりも嬉しい。「どつても良かったよ。いつしようけんめいやれて。さつき、家で切つてきたでね」

おばさんたちの手には三つの花束が用意されていた。

障害を持つ子の授業を成立させるのは難しいというが、サヨコ先生の学級から学ぶことは多い。

- ① その子の長所を伸ばし、障害をカバーするような脚本を作成している。
- ② 効率化を通して、人に分かるように話さざるを得ない状況を設定し、子どもをそこへ追い込んでいる。
- ③ 障害を持つ子を、先生方だけでなく全校の職員で育むよう努めている。



橋

(66)



▲ 神 橋

岡崎公園内のお堀に架かる龍城神社神橋。
緑の中の朱色が鮮やかだ。

▶ 「出合之像」

峰須賀小六と日吉丸の
「出合之像」が、矢作橋
西詰めに本年完成した。



▲ 矢作橋 昭和24年、現在の場所に移る。35年に大改装がなされたが、
傷みが激しい。



岡 崎 の 橋

「橋」のイメージが、近年大きく変わろうとしている。

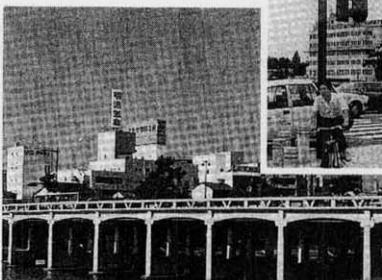
今までは、単に道路の延長としてのみ考えられていた橋も、
最近は「橋」そのものの景観を考慮に入れて造られるようになつた。やつと西洋並みに一つの独立した建造物として考えられるようになってきた。

橋には昔からその地域に住む人々の様々な想いが託されて

いたり、様々な歴史が刻まれていたりする。そうした想いや歴史も、激しく行き交う車の喧噪と時代の流れの中で、空しく朽ちようとしている。新しい橋の美しさを眺めた後で、草むらの中に昔むした古い橋の親柱を見い出したとき、何か言

い知れぬいとおしさを覚えたりする。
改めて身近にある「岡崎の橋」を見直してみたい。

▼ 明代橋 近い将来、この辺りにリバーフロント構想に基づく夢の掛け橋が誕生するかもしれない。

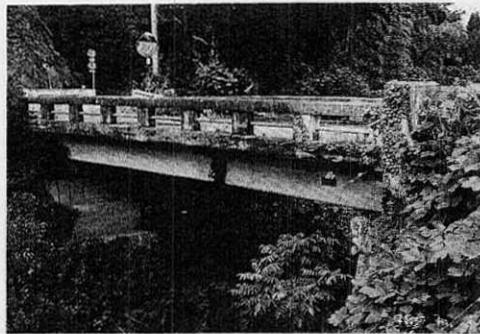


◀

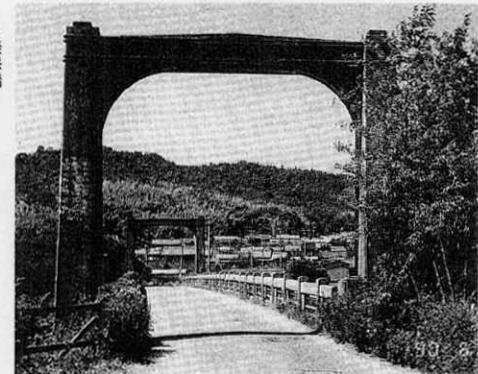
▲ 殿 橋

岡崎を代表する橋として、
最近、郷土の風物を取り入れて、
美しく化粧しなおされた。





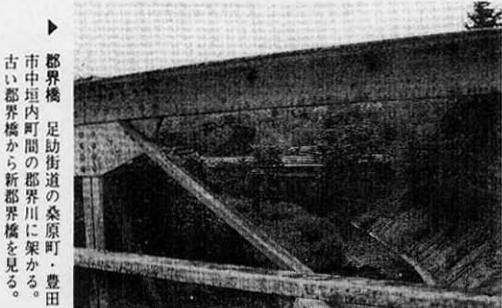
▲ 見返橋 安戸町内の小丸川（青木川支流）に架かる。山峠のつづら折りの道をこの橋まで来て、ふと見返るところからこの名が付けられたという。



▶ 美保橋
乙川の小美町と保母町に架かり、未だにかつてのつり橋の名残を留めている。



▶ 長圓寺（西尾市貝吹町）



▶ 郡界橋
足助街道の桑原町・豊田市中垣内町間の郡界川に架かる。古い郡界橋から新郡界橋を見る。

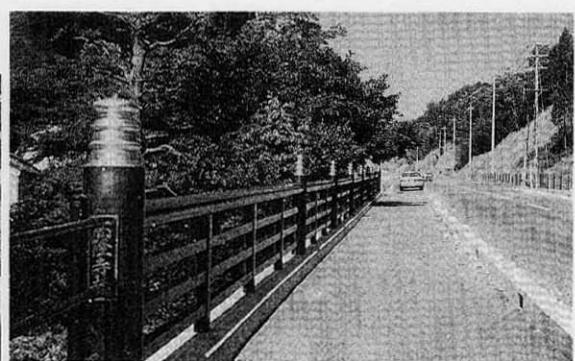
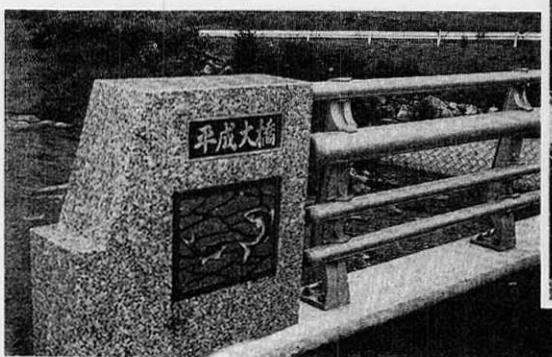


▲ 勅使橋
中島町の広田川に架かる。明治43年、板倉勝重公ご贈位のため、時の知事が勅使として長圓寺に参向した折、新しく架け替えられ、以来「勅使橋」という。



▶ 思案橋
国正町の占部川に架かる。古の人が、この橋の上で思案に暮れたという。

▼ 平成大橋
岩戸町内の乙川に架かる。平成2年に完成。旧は岩戸橋。若鮎はねる図柄が、乙川の清流にふさわしい。



▲ 高隆寺橋 高隆寺町内の更沙川（乙川支流）に架かる。平成元年完成。縁の中で、美しい欄干や宝珠がひときわ映える。

調べることで、納得し理解を深めてゆく。それが、一人ひとりの考えを大切にしていくことだ

子どもたちの、意欲の高まりを感じる。

時、Y君だけは、固く心に決めている様子である。運動能力に優れたY君がソフト部に入部す

君ちはお金持ちでいいな。ぼくは、お父さんにグローブをねだつた自分がはずかしくな



實驗

夢石人 倉橋 重夫

なめてみたらしよづばかつた

カリ性(水酸化ナトリウム)の水溶液を、混ぜ合わせた水溶液を調べている時のことである。

金属を入れてある子、一冊の
ス紙で調べている子、水を蒸発
させている子。一人ひとりが、

S男は、どうしてもなめてみたかったのであろう。私の注意を聞かず、とうとうなめてしまつた。

探究心旺盛な子どもたちは、自分の考えにもとづいた方法で

法ではなく、自分の方法でできることがうれしいのであろう。

に胸を膨らませながら、どの部活動に入部しようか迷っている

お金はいらんだろ。だから、ぼくはサッカー部に入る。Y



教育自足

一日一日が、一時間一時間が、子どもたちにとって、喜びや驚きに満ちたものであつてほしい。そのためにも、一人ひとりを生かす努力を続けていきたい。

「うん。」
「先生と一緒にがんばろうな。
男の約束だよ。」

君ちはお金持ちでいいな。(ぼくは、お父さんにグローブをねだつた自分がはずかしくなりました。ぼくは、T君といっしょにサッカー部でがんばります。)



サッカー部に入ります

六北小倉橋正捕

「先生、ソフト部に絶対入部するよ。お父さんがグローブを買っててくれるって言つたから。」

部つてグローブがいるだろ。
ぼくんちは母子家庭でお金が
ないから、グローブを買つて

子供たちは、日々の出来事の中で思い悩み、自己を見直し、個々の内面を見据える心の余裕があるだろうか、自問する毎日である。

「サッカー部でがんばれよ。」
と、精一杯の声をかけた。

脳裏では、先生との絆と丁寧の言葉とが交錯し、思い悩んだ

た。相手の心の痛みの分かるY君の優しさに対してだ。Y君の

君ちはお金持ちでいいな。(ぼくは、お父さんにグローブをねだつた自分がはずかしくなりました。ぼくは、丁君といつしょにサッカー部でがんばります。)

事故死者数は二七九名で、北海道について全国第二位である。本市の小中学生の交通事故発生件数は二十五件で、急増した前年より十七件減少し、ほぼ平年並となつてきている。

学年別では、中学三年の五件中学一年、小学二年の各四件で全体の五十六%を占めている。原因別では、飛び出しが十四件と目立っている。特に、自転車乗車中の事故は六十%に達している。なお男女別では、男子の事故が八十九%と圧倒的に多い。

基本的な交通ルールを守り、児童・生徒の不注意による交通事故をなくすよう、一層の交通指導の徹底を図っていきたい。

合計	原因別発生状況		年度/年	月	年度/年	月	原因別発生状況
	飛び出し	横断					自損その他
42	2	2	9	6	23	平1	42
25	1	1	5	4	14	平2	25

成績は次の通りである。

○優秀賞

・常磐 三年 石原 衣里

・竜南 三年 新香山 二年 中根真由美

表であった。

四百字詰め原稿用紙(B4版)三十枚以内

○提出期日 八月二十四日(金)

○提出先 市教委学校教育課 松井主事

○字数

六ツ美 三年 高木 恵美

矢作北 三年 松本さやか

矢作 三年 渡辺 有麻

六ツ美 三年 高木 恵美

河合 二年 杉山沙登美

岩津 二年 市川 淳子

福岡 二年 村上由利子

東海 二年 鈴木 哲

・ 葵 三年 江村 美紀

・ 竜海 三年 太田 雅浩

・ 南 三年 富田 雅子

・ 甲山 三年 内田 祐嗣

・ 北 三年 梁川 愛美

・ 附属 三年 井上 知夏

○奨励賞

○部門

第一部門 個人研究

第二部門 共同研究

○字数

三百字詰め原稿用紙(B4判)

三十枚以内。表・写真・グラフ等は本文に含める。

○提出期日 十二月一日(土)

○提出先

市教委学校教育課 松井主事

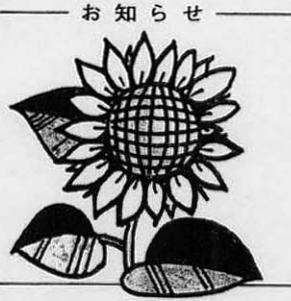
守ろう一日停止、左右確認

一過半数を占める飛び出し

平成2年度夏季実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
書写	8・2	岩津市民センター	50
算数・数学	8・3	大平市民センター	60
理科	8・2	大樹寺小学校	60
社会	8・2	市民会館リハーサル2	40
図工・美術	8・6	世界子ども美術博物館	50
小学校家庭	8・3	婦人会館	40
技術・家庭	8・3	美川中学校	40
英語	8・2	六ツ美市民センター	50
特殊教育	8・3	細川市民ホーム	50
VTR	8・2・3	連尺小学校	40
パソコン	8・2・3	東海産業短期大学	50
学校図書館	8・3	常磐東小学校	80
学校保健	8・3	婦人会館	60
野外活動	8・2・4	少年自然の家	60

■岡崎市美術館特別展「版画に見るジャボニスム展」開催
日本美術の影響を受けた西欧の画家たちの、版画を中心とした一五三点の作品を展示。
期日 八月一日(水)~二十六日(日)
開館時間 午前十時~午後六時
(月曜日休館)



・表紙写真
・カット

三島小
東海中

河下智幸
村松裕敏
鴨下咲子

昭和三十三年文部省の告示により、科学技術の振興が叫ばれた。中学校に技術・家庭科が新設され、とりあげられた教材に真空管式三球ラジオがあつた。ここに紹介するラジオは、通称ダルマ管（正式にはST管）とも呼ばれ、直徑約五センチ、長さ約十七センチの筒形をし、端子の足が三～五本ある大型の真空管を三本使つたラジオである。

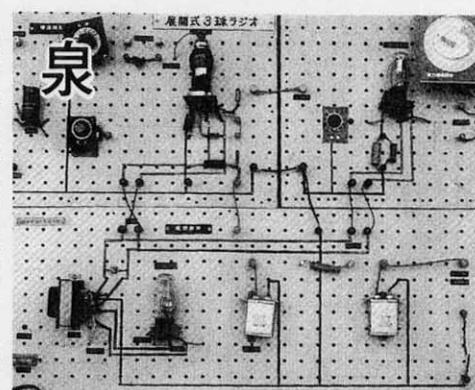
12F、6C6、6ZP1と呼ばれた。ダルマ管で一セットの教材を一本一本はんだ付けして配線し、組み立てが終わる。電

源プラグをコンセントに差し込んで、ピーピー、キュー・キューという独特の発振音を出しながら、かすかに放送が聞こえてきた時の中学生の顔は、満足げに光りかがやいていた。

電源回路、検波回路、電力増幅回路別の三つから成り、回路ごとの学習をすることができた。

写真は、その後夏季実技講習会で、先生方が作り直したものである。一枚のパネルに展開し、

やさしくしたり、測定しやすいよう改められた教具である。



矢作中学校

真空管式 3球ラジオ



*日本語と外国語 鈴木 孝夫
岩波書店 ¥550

*土の100不思議 日本林業技術協会編
東京書籍 ¥1030

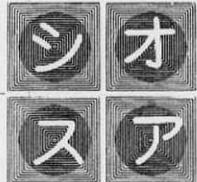
*太平洋戦争下の学校生活 岡野 薫子
新潮社 ¥1700

*文化なき家族の病理 山田 和夫
大和出版 ¥1340円

*無気力化する子どもたち 深谷 昌志
日本放送出版協会 ¥780

国際比較調査によって明らかにされた日本の子供の姿を、著者は「落日する日本の将来を見る思いがして不安だ」と言う。これは、むのたけじ氏が詞集『たいまつ』の中で「その国の未来は、子供の表情に現れる」と述べていることと軌を一にする。

子供たちに、やる気や自主性を持たせる方策を提言したエピローグの部分は、学校・家庭・地域のありようを見直していく上で示唆に富む。



思案橋。かつて人々が、この橋の上で、右へ行こうか、左へ行こうかと思案に明け暮れたという。しかし、今ではコンクリートでできたこの橋の上を何の戸惑いもなく車が行き来する。我々現代人も、時折立ち止まって、物事を考えるゆとりを失わないようにしたいのだ。

スイッチ一つで何でも手軽にできてしまう世の中になり、子供の思考も短絡的で、AかBかの二者の一コマをつくり出す。聞くこえる子供たちの歓声と重なり合い、ゆつたりと流れゆく夏の日の一コマをつくり出す。

押一を得意とする。その分だけ情緒が失われ、潤いのない子が増えたようだ。一つの言葉でも生活体験によって様々なかじ方があり、一つの体験にもいろいろな表現があることを知らせてやりたい。